

令和2年度授業改善推進プラン

清瀬市立芝山小学校第6学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<p>基礎的な言語事項の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年で学んだ語彙を正しく使うこと ・物語の流れを理解すること ・読み取ったことを表現する力の育成 ・要旨をとらえながら読み、まとめたり、それに対する自分の考えを書くこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に書いたり聞いたりする活動を行い、既習の言葉を積極的に使わせる。 ・登場人物の気持ちや心情を読み取る活動を積極的に取り入れる。 ・自分の考えを書く活動を多く取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典を日常的に活用することで、語彙を増やすことができてきたが、個人差が見られた。 ・自分の考えを書く経験を積み重ねたことで、文章にまとめる力がついてきた。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取り、その特徴や変化を捉え、それを記述すること ・出てきた資料やグラフについて、調べたり、考えたりすること 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料をもとに図や文章などで表現し説明することができるようにする。 ・資料について、より深く考えられるよう友達と話し合う活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや表、写真などの資料から情報を読み取ることはできるが、調べたことについて文章にまとめたり、考えたことを他者に向けて発表したりする力は十分とは言えない。
算数	<p>数学的な考え方の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや根拠をもとに論理的に説明したり、記述したりすること 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えが伝わるように、言葉や図を使って相手に分かるように順を追って説明する活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動等で全員が自分の考えを説明することができるようになってきた。 ・図や数直線を使って説明する児童が少なかった。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・予想や仮説を立て、積極的に観察や実験に取り組む姿勢の育成 ・実験結果や観察記録を図や絵、言葉でわかりやすく表現し、考察する力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験では、自らの体験や知識と結び付けて予想を立てさせ、その根拠をもたせながら取り組ませる。 ・実験結果を考察し、自分の言葉でまとめられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予想やその考えの根拠を説明できるようになってきた。 ・結果を分かりやすくまとめることができるようになってきたが、考察したことを文章に表すことが難しい児童が多かった。
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を設定し、自ら解決する方法を見つけ、追究する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決の方法をいくつか与え、選べるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに取り組んだことがある解決方法や、まとめ方から、課題に合ったものを自分で選ぶことができてきた。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって表現をするための技能の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように歌ったり演奏したりしたいか思いや意図をもたせるような言葉かけをする。 ・様々な楽器を取り入れ、学習形態を工夫し、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて合わせる技能を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制限のある状況の中、歌唱に関しては歌声が小さくなった。歌う意欲をもたせていくことが必要である。 ・器楽に関しては、様々な楽器に触れ、全体のバランスに気を付けて意欲的に合奏することができた。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・道具や材料などの扱い方を習得し、用途に応じて自分なりに使い分けられる力の育成 ・テーマを理解して、自分なりの発想で表現を工夫しようとする力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・つくるものを自分で設計する題材を取り入れる。自分の作りたいものに合わせ、道具や材料を使うようにする。 ・様々な発想の作品を鑑賞する時間をとる。表現を工夫する為の情報交換の時間もとるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工具やカッターなどを使う時間を多めにとつたので、正しく安全に使えるようになってきた。 ・鑑賞の時間は、スクリーンを使って全体で行うようにした。巻物などの大きな作品は、間隔をあけて順番に鑑賞した。自分の制作に生かすことができた子が多くいた。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活に必要な基礎的知識、技能の習得とその活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを家庭で実践できるように、児童の生活実態と関連した課題の出し方やワークシートを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理や清掃の課題を出し、家庭で実践することができた。 ・学んだことを自分の生活で生かす方法を考えることができるようになってきた。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のためにどのような練習をすればよいか考え、工夫して取り組む力 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題を的確に捉えられるよう学習カード等を活用し、自分の課題にあった場を使って、意欲をもって取り組めるように計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを活用し、自分の課題を見付け、工夫して練習することができてきた。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・時と場合に応じた表現を使うこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者に配慮した表現の方法を考えさせながら、外国語を使うようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達に伝えるように、ワークシートを書いたり、スピーチをしたりすることができてきた。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の経験に沿った話し合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の経験を振り返り、ワークシートに記入してから話し合いができるように後半の時間を多くとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後半に自分の経験を振り返る時間をつくり、生活に結び付けて考えたり、友達と話し合ったりすることができてきた。